

京都大学附属病院を受診された患者様並びに京都大学の研究に試料を提供いただいた皆様へ

本学では他の研究機関で行われる臨床研究のため、本学に保管されている試料、情報を提供しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、試料や診療情報等を研究目的に提供されることを希望されない場合は、下記の申し出先・問合せ先にご連絡ください。提供を拒否されても不利益を被ることはありません。

1 研究課題名	皮下脂肪織炎様病理所見を呈する小児皮膚 T 細胞性リンパ腫の臨床病理学的研究
2 研究責任者の氏名と所属 研究機関の名称	埼玉県立小児医療センター 臨床研究・治験センター センター長 中澤 温子
3 研究期間	2026 年 4 月 13 日～2028 年 3 月 31 日
4 共同研究機関等の名称 と各施設の責任者の氏名	共同研究機関： 東北大学大学院医学系研究科 小児病態学分野 中野 智太（研究責任者） 抗体創薬学分野 森谷 邦彦（研究事務局） 研究協力機関： 長野県立こども病院 血液腫瘍科 坂下 一夫 九州大学医学研究院 周産期・小児医療学 石村 匡崇 京都大学大学院医学研究科 エコチル調査京都ユニットセンター 八角 高裕 金沢大学医薬保健研究域医学系小児科学 和田 泰三 秋田大学医学部附属病院 小児科 矢野 道広 国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター 永井 功造 【日本小児がん研究グループ(JCOG)血液腫瘍分科会参加施設】 札幌北榆病院 小児思春期科 堀大紀 東京慈恵会医科大学附属病院 小児科 秋山政晴 岐阜市民病院 小児科 横山能文 山形大学医学部附属病院 小児科 三井哲夫 兵庫県立こども病院 血液腫瘍内科 森 健 大分大学医学部附属病院 小児科 後藤洋徳 徳島大学病院 小児科 岡村和美 北九州市立八幡病院 小児血液・腫瘍内科 本田裕子 日本赤十字社和歌山医療センター 小児科 横山宏司 鹿児島大学 小児科 西川拓朗 国立成育医療研究センター 小児がんセンター 牛腸義宏

	獨協医科大学病院 小児科 佐藤雄也 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 小児科 濱 麻人 他 病理解析協力者 静岡県立こども病院 病理診断科 岩淵英人 恵佑会札幌病院 病理診断科 高桑恵美 福島県立医科大学病理病態診断学講座 橋本優子 島根大学医学部 病態病理学講座 新野大介 JCCG 病理診断委員会事務局(国立成育医療研究センター病理診断部)義岡孝子
5 承認した倫理審査委員会と研究機関の長の許可	埼玉県立小児医療センター倫理委員会で承認され、埼玉県立小児医療センター病院長の許可を得ています。
6 研究の目的と意義	私たちの施設では、「皮下脂肪織炎(ひかしぼうしきえん)」に似た病理所見を示す小児の皮膚 T 細胞性リンパ腫について調べる研究を行っています。 このような病変は、見た目や症状が感染症・自己免疫の病気・炎症性の脂肪織炎などと似ていることが多く、診断が難しいことがあります。また、病気の種類によって治療の方法や効き方が大きく異なるため、正しい診断がとても重要です。 この研究では、これまでに治療を受けたお子さんの ・病気の経過(症状・治療内容・転帰) ・皮膚の病理標本(顕微鏡で見た組織の様子) ・免疫染色や遺伝子検査の情報(診断に用いられたもの) を詳しく見返し、どのような特徴が診断や治療に役立つのかを明らかにすることを目的としています。 この研究によって、似た症状をもつ病気をより正確に区別できるようになり、より適切な治療を選ぶための助けとなることが期待されます。
7 対象となる試料・情報の取得期間等	京都大学医学部附属病院において、2009 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日までに診療された皮下脂肪織炎様病理所見を呈する小児皮膚 T 細胞性リンパ腫症例(疑い例を含む)を対象とします。

8 試料・情報の提供予定日	2026 年 9 月 8 日以降
9 研究の方法と提供する試料や情報の項目	この研究は、これまでに当院や他の医療機関で治療を受けられたお子さんの診療記録(カルテ)と、診断のために採取された皮膚の病理標本(ホルマリン固定パラフィン包埋標本)を見直して行う研究です。 ・新たに追加の検査や採血、治療などをお願いすることはありません。 ・患者さんやご家族に新たな負担が生じることはありません。 各医療機関から提供いただいた情報・試料をもとに、 ・病気の経過や治療の記録 → 東北大学で整理 ・病理標本の再評価 → 埼玉県立小児医療センターで解析を行い、その二つを合わせて病気の特徴を調べます。 研究に使用するのは、診療のためにすでに得られている以下の情報です。 ・診断の経過、症状、検査結果 ・受けた治療(薬の種類など)とその後の経過 ・皮膚生検で得られた病理標本(すでに病院で保存されているもの) ・診断の過程で行われた免疫染色や遺伝子検査の結果 氏名・生年月日・住所などの個人が特定される情報は研究には使用しません。 研究用には患者さんごとに新しい「研究 ID」をつけ、コード化したデータを使用します。
10 試料・情報の他研究機関への提供およびその提供方法について	提供する電子カルテの情報から、氏名や住所等の患者様を直接特定できる個人情報とは削除しますので、患者さんの個人情報が研究利用の段階で漏洩することはありません。血液検査データ、病理標本についても同様です。研究結果は学会等で発表の予定ですが、その際に患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
11 外国への提供の有無 (当該外国名、個人情報保護制度、受領者が講ずる個人情報保護に関する措置)	☐ 有 ☒ 無 (有の場合は、さらに情報も記載)
12 提供機関の長の氏名	京都大学医学部附属病院長 高折晃史
13 試料・情報の管理・提供責任者の氏名	京都大学大学院医学研究科 子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)京都ユニットセンター 特定教授 八角高裕

14 試料・情報の提供の辞退に関するお申し出先・お問い合わせ先	郵送先: 〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 53 京都大学大学院医学研究科 子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)京都ユニットセンター 八角高裕 電話: 075-751-3290(小児科医局) 八角高裕 Email: yasumi@kuhp.kyoto-u.ac.jp
15 備考・その他 (参照 URL 等)	https://www.saitama-pho.jp/documents/5448/2025-05-012.pdf